



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1753		
科目名	中国語Ⅲ		
担当教員	日吉 秀松		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 5		
講義室	1313	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	語学		
科目の位置付け（開発能力）	■ D P コード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP6-K〔表現力・対話力〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 A日本の精神文化を理解し、多様な価値を受容する姿勢 D文化的素養・市民的素養 I理解力・分析力 ■ C R コード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A2異文化適応(20%) D1市民的素養と参加(20%) I1 理解・分析と読解（10%） K1ライティング・コミュニケーション(25%) K2 オラル・コミュニケーション(25%)		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 2進行期～3発展期		
科目概要・キーワード	初級レベルから中級レベルを目指します。中国語を読めて・聞けて・話せて・書ける能力を養成するための教育を行います。日常会話をマスターし、表現力を身につけることを目指します。引き続き中国語をマスターするのに必要な文法事項についても重点的に解説します。授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 （キーワード）朋友、中国、美景 授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。		
授業の趣旨	■ 副題 コミュニケーションの達人になろう ■ 授業の目的 本講義では、練習などを通じて、会話力や表現力を身につけ、文化的に異なる人々との交流を自発的に行わせることです。具体的には、頻度の高い語彙・表現をもちいて、中級の会話・中級の文法・文章作りなどを習得することを目指します。 ■ 授業のポイント グローバル化とともに、異文化と出会う機会が増えつつあり、さまざまな言語使用の必要性が高まっています。その中に、中国語によってのコミュニケーション、文書作成、電話対応、接客などが求められるケースが急増しています。特に中国語の会話力や表現力が必要となります。本講義は、その現状を踏まえて、中国語Ⅰ、Ⅱを習得した上で、初級の文法を復習しながら中級の文法へと進み、よく使う日常会話の練習を行い、一学期を通じて比較的流暢な会話能力や短いセンテンスを作る能力を身に付けると試みます。		
総合到達目標	■ 中国語の文法や表現などの勉強を通じ、頻出度の高い単語をマスターし、日常的なコミュニケーション能力や文章作りの力を身につける。 ・ 文法や表現を修得し、単語をマスターしたうえで、簡単なセンテンスを作ることができる。（第1回～第15回）		

	・発音そして会話の練習を通じて、簡単な会話をスムーズに話すことができる。（第1回～第15回）																
成績評価方法	①日常会話の練習（60％）適用ルーブリック A2 I1 K1 D1 （評価の観点）授業内容の理解度を総合的に確認し、日常会話の能力をある程度身につけているかどうかを評価します。 （フィードバックの方法）日常会話のポイントをチェックし、会話力を確認します。 ②作文4回（40％）適用ルーブリック A2 I1 K2 （評価の観点）途中チェックという目的で、短文づくりを中心に学習者の習得状況を確認します。 （フィードバックの方法）作文をチェックし、問題点を説明したうえで、会話練習によって正答を確認します。																
履修条件	中国語Ⅰ・Ⅱを履修していることが望ましい。																
履修上の注意点																	
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の方法、成績評価の方法等の説明) ②授業概要 授業のテーマや内容、スケジュール、成績評価の方法について説明を行う。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 中国語1, 2の内容を再度確認する ④復習(120分) 授業を振り返り、授業の目的と到達目標を確認する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 中国に行こう ②授業概要 助動詞“可以”、“要”の使い方や主述述語文に関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ ウーロン茶を飲もう ②授業概要 「原因・理由」を表す表現、「逆接」を表す表現などに関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①授業テーマ 友達をつくろう ②授業概要 連動文や疑問詞などに関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したプリントを読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。 </td></tr> <tr> <td>5</td><td> ①授業テーマ 長城に登ろう ②授業概要 “了”の3つの使い方や副詞“就”の使い方に関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。 </td></tr> <tr> <td>6</td><td> ①授業テーマ 漢字を覚えよう ②授業概要 結果補語（1）や副詞“有点兒”などに関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。 </td></tr> <tr> <td>7</td><td> ①授業テーマ 前半の振り返り ②授業概要 今までの授業内容を総括し、1回目の授業小テストを実施する。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の方法、成績評価の方法等の説明) ②授業概要 授業のテーマや内容、スケジュール、成績評価の方法について説明を行う。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 中国語1, 2の内容を再度確認する ④復習(120分) 授業を振り返り、授業の目的と到達目標を確認する。	2	①授業テーマ 中国に行こう ②授業概要 助動詞“可以”、“要”の使い方や主述述語文に関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。	3	①授業テーマ ウーロン茶を飲もう ②授業概要 「原因・理由」を表す表現、「逆接」を表す表現などに関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。	4	①授業テーマ 友達をつくろう ②授業概要 連動文や疑問詞などに関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したプリントを読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。	5	①授業テーマ 長城に登ろう ②授業概要 “了”の3つの使い方や副詞“就”の使い方に関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。	6	①授業テーマ 漢字を覚えよう ②授業概要 結果補語（1）や副詞“有点兒”などに関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。	7	①授業テーマ 前半の振り返り ②授業概要 今までの授業内容を総括し、1回目の授業小テストを実施する。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分)
回	内容																
1	①授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の方法、成績評価の方法等の説明) ②授業概要 授業のテーマや内容、スケジュール、成績評価の方法について説明を行う。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 中国語1, 2の内容を再度確認する ④復習(120分) 授業を振り返り、授業の目的と到達目標を確認する。																
2	①授業テーマ 中国に行こう ②授業概要 助動詞“可以”、“要”の使い方や主述述語文に関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。																
3	①授業テーマ ウーロン茶を飲もう ②授業概要 「原因・理由」を表す表現、「逆接」を表す表現などに関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。																
4	①授業テーマ 友達をつくろう ②授業概要 連動文や疑問詞などに関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したプリントを読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。																
5	①授業テーマ 長城に登ろう ②授業概要 “了”の3つの使い方や副詞“就”の使い方に関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。																
6	①授業テーマ 漢字を覚えよう ②授業概要 結果補語（1）や副詞“有点兒”などに関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。																
7	①授業テーマ 前半の振り返り ②授業概要 今までの授業内容を総括し、1回目の授業小テストを実施する。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分)																

	1回から6回までの授業内容をよく通読し、事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。
8	①授業テーマ 街を歩こう ②授業概要 “又～又”や“一辺儿～一辺儿”の使い方に関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。
9	①授業テーマ 中国映画を見よう ②授業概要 「状態の持続」の表し方や副詞“再”などに関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。
10	①授業テーマ シルクを買おう ②授業概要 方向補語や「使役」の表し方などに関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。
11	①授業テーマ 中華料理を食べよう ②授業概要 可能補語や強調表現などに関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。
12	①授業テーマ 太極拳を習おう ②授業概要 「目的」を表す表現及び「推測」を表す表現などに関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 8回から11回までの授業内容をよく通読し、2回目の小テストを実施する。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。
13	①授業テーマ 水滸伝を楽しもう ②授業概要 結果補語（2）や「受身」を表す表現などに関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。
14	①授業テーマ 春節を過ごそう ②授業概要 「快～了」や「把」の使い方などに関する説明。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 事前に配布したpdf教材を読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、暗記する。
15	①授業テーマ 総括 ②授業概要 14回の授業の学びを総括し、会話の総合練習を行う。A2・D1・I1・K1・K2 ③予習(120分) 講義ノートを整理し、確認しておく。 ④復習(120分) 講義ノートの全体を読み直し、センテンスを暗記し、期末試験に臨む。

関連科目	中国語Ⅰ(RMGT/SSCS 1751)、中国語Ⅱ(RMGT/SSCS 1752)、中国語Ⅳ(RMGT/SSCS 1754)
教科書	
参考書・参考URL	尹景春・竹島 毅 『中国語さらなる一歩』白水社
連絡先・オフィスアワー	連絡先 開講時に告知します。 オフィスアワー 金曜日11:00~12:30 それ以外の時間については、メールにて相談したうえで対応します。
研究比率	

